子ども発達学部

< 卒業条件 >

- ① 休学期間を含まずに4年間以上在学し、第4学年を修了すること
- ② 卒業必要単位数（124単位）以上を修得すること
- ③ 以下の卒業条件を満たすこと
- ④ 学部所定の要件に従い、卒業研究を提出し、合格する（2019年度入学者のみ）

2019年度入学者

学部共通			
1、所属する学科の総合基礎科目28単位以上、専門科目を66単位以上修得し、他学部・他学科開講科目を含めて、合計で124単位以上修得していること。ただし、自由科目を除く。			
2、学部所定の要件に従い卒業研究を提出し、合格していること。			
子ども発達学科		心理臨床学科	
保育専修	学校教育専修		心理臨床学科
	学校教育コース	特別支援教育コース	
■卒業必修科目 スポーツ実技 フレッシュマンイグ リッシュⅠ-1 フレッシュマンイグ リッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ 以下の科目から10単位以上修得すること。 保育原理Ⅰ 保育原理Ⅱ 教育原理（幼保） 教育と発達の心理学（幼保） 保育・教育制度論 保育方法論Ⅰ 保育方法論Ⅱ 保育職論 社会福祉論 保育・教育課程論 特別支援教育概論（幼） 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 子ども家庭支援論 社会的養護 教育福祉論 障害者論 学童保育論 以下の科目から2単位以上修得すること。 保育内容演習 乳幼児と音楽（演習） 乳幼児と造形（演習） 乳幼児と健康（演習） 乳幼児と言葉（演習） 乳幼児と人間関係 乳幼児と環境 以下の科目から16単位以上修得すること。 からだと健康（保育内容A） 仲間と交わり（保育内容B） 生活と環境（保育内容C） 発達と言葉（保育内容D） 感性と表現（保育内容E） 音楽表現 造形表現 身体表現 子ども理解の理論と方法 教育・臨床相談の基礎演習 保育カンファレンス演習	■卒業必修科目 スポーツ実技 フレッシュマンイグ リッシュⅠ-1 フレッシュマンイグ リッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ 以下の科目から2単位以上修得すること。 教職入門 教育と発達の心理学 教育原理 教育制度論 特別支援教育概論 以下の科目から4単位以上修得すること。 教育課程論 教育方法論 生徒・進路指導論 道徳教育の理論と方法 特別活動方法論 教育相談の基礎と方法 以下の科目から4単位以上修得すること。 国語科研究 社会科研究 算数科研究 音楽専門研究Ⅰ 造形専門研究Ⅰ スポーツ専門研究Ⅰ 理科研究 生活科研究 家庭科研究 外国語研究 以下の科目から4単位以上修得すること。 社会福祉論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 学校福祉論 教育福祉論 司法福祉論 以下の科目から4単位以上修得すること。 国語科教育法 社会科教育法 図画工作教育法 音楽科教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法	■卒業必修科目 スポーツ実技 フレッシュマンイグ リッシュⅠ-1 フレッシュマンイグ リッシュⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ 以下の科目から2単位以上修得すること。 教職入門 教育と発達の心理学 教育原理 教育制度論 教育課程論 教育方法論 生徒・進路指導論 道徳教育の理論と方法 特別活動方法論 教育相談の基礎と方法 以下の科目から2単位以上修得すること。 国語科研究 社会科研究 算数科研究 理科研究 生活科研究 家庭科研究 外国語研究 以下の科目から2単位以上修得すること。 社会福祉論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 学校福祉論 教育福祉論 司法福祉論 以下の科目から2単位以上修得すること。 国語科教育法 社会科教育法 図画工作教育法 音楽科教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法	■卒業必修科目 フレッシュマンイグ リッシュⅠ-1 フレッシュマンイグ リッシュⅡ-1 心理学概論 心理学研究法 心理学実験 心理学専門演習Ⅰ 心理学専門演習Ⅱ 以下の科目から4単位以上修得すること。 発達心理学 心理データ処理演習 精神疾患とその治療 福祉心理学 心理療法学 コミュニケーションスキル演習Ⅰ

子ども発達学科		心理臨床学科	
保育専修	学校教育専修		
	学校教育コース		特別支援教育コース
子どもの食と栄養演習 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助 子どもの保健 乳児保育論 乳児保育演習 障害児保育演習 子どもの健康と安全 ソーシャルワーク演習 社会的養護内容演習 子育て支援演習 教育実習Ⅰ（幼・事前事後） 教育実習Ⅱ（幼） 保育・教職実践演習 保育実習ⅠA（保育所） 保育実習指導ⅠA（保育所） 保育実習ⅠB（施設） 保育実習指導ⅠB（施設） 保育実習Ⅱ（保育所） 保育実習指導Ⅱ（保育所） 保育実習Ⅲ（施設） 保育実習指導Ⅲ（施設）	音楽科教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法 外国語教育法 総合的な学習の時間の指導法	外国語教育法 総合的な学習の時間の指導法 以下の科目から4単位以上修得すること。 知的障害児教育論 知的障害児指導法 肢体不自由児教育論 肢体不自由児指導法 特別支援教育課程論 以下の科目から4単位以上修得すること。 聴覚障害児指導法 重度重複障害児教育論 重度重複障害児指導法 発達障害児指導法 障害児教育特論 以下の科目から4単位以上修得すること。 知的障害児の心理 知的障害児の生理と病理 肢体不自由児の心理 肢体不自由児の生理と病理 視覚・聴覚・病弱児論 発達障害児論 以下の科目から2単位以上修得すること。 聴覚障害児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理	

備考：外国人留学生入試による入学者は、原則として「日本語と文化Ⅰ-1」「同Ⅰ-2」「同Ⅱ-1」「同Ⅱ-2」「同Ⅲ-1」「同Ⅲ-2」「同Ⅳ-1」「同Ⅳ-2」を「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」「同Ⅱ-1」に替えて修得する。

2013 年度～ 2018 年度入学者

学部共通
 所属する学科の総合基礎科目 28 単位以上、専門科目を 66 単位以上修得し、他学部・他学科開講科目を含めて、合計で 124 単位以上修得していること。
 ※ 自由科目及び卒業単位に参入しない資格科目を除く

保育専修	学校教育専修	心理臨床学科		
■卒業必修科目 「フレッシュマンイングリッシュ I-1」(1 単位) 「フレッシュマンイングリッシュ II-1」(1 単位) 「スポーツ実技」(2 単位) 「日本国憲法」(2 単位) 「教育と発達心理学 C」(2 単位) 「保育職論」(2 単位) 「保育原理 I」(2 単位) 「保育方法論 I」(2 単位) 「保育原理 C」(2 単位) 「保育課程論」(2 単位) 「教育制度論 C」(2 単位) 「保育方法論 II」(2 単位) 「保育内容演習」(2 単位) 「からだと健康 (保育内容 A)」(2 単位) 「仲間と交わり (保育内容 B)」(2 単位) 「生活と環境 (保育内容 C)」(2 単位) 「発達と言葉 (保育内容 D)」(2 単位) 「感性と表現 (保育内容 E)」(2 単位) 「保育臨床相談」(1 単位) 「子ども発達学専門演習 I」(4 単位) 「子ども発達学専門演習 II」(4 単位)	■卒業必修科目 「フレッシュマンイングリッシュ I-1」(1 単位) 「フレッシュマンイングリッシュ II-1」(1 単位) 「スポーツ実技」(2 単位) 「日本国憲法」(2 単位) 「情報処理演習 I」(2 単位) 「教職入門 A」(2 単位) 「教育と発達心理学 A」(2 単位) 「教育原理 A」(2 単位) 「教育制度論 A」(2 単位) 「教育課程論 A」(2 単位) 「道徳教育の指導法 A」(2 単位) 「教育方法論 A」(2 単位) 「教育相談の基礎と方法 A」(2 単位) 「生徒・進路指導論 A」(2 単位) 「特別活動方法論 A」(2 単位) 「国語科指導法」(2 単位) 「社会科指導法」(2 単位) 「算数科指導法」(2 単位) 「理科指導法」(2 単位) 「図画工作指導法」(2 単位) 「音楽科指導法」(2 単位) 「体育科指導法」(2 単位) 「生活科指導法」(2 単位) 「家庭科指導法」(2 単位) 「教育実習 IA(事前事後)」(1 単位) 「教育実習 II A」(4 単位) 「教職実践演習(小中)」(2 単位) ・以下の科目の中から I 及び II を合わせて 2 科目 8 単位を必修 「子ども発達学専門演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「言語教育演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「社会認識教育演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「自然認識教育演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「芸術教育演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「スポーツ教育演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「生活指導演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「哲学演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「法学演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「政治学演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「社会学演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) 「日本史演習 I」(4 単位、「同 II」(4 単位) ・以下の 3 科目から 1 科目 2 単位を必修 「音楽専門研究 I」(2 単位、「造形専門研究 I」(2 単位)、 「スポーツ専門研究 I」(2 単位) ・以下の 6 科目から「社会科研究」を含み 3 科目 6 単位を必修 「国語科研究」(2 単位、「社会科研究」(2 単位、「算数科研究」(2 単位、「理科研究」(2 単位、「家庭科研究」(2 単位、「生活科研究」(2 単位) ・上記の 9 科目から 12 単位を必修 ・以下の 4 科目から 2 科目 4 単位を必修 「社会福祉論」(2 単位、「児童家庭福祉論 I」(2 単位)・ 「同 II」(2 単位、「教育福祉論」(2 単位)	心理臨床学科 共通 ■卒業必修科目 「フレッシュマンイングリッシュ I-1」(1 単位) 「フレッシュマンイングリッシュ II-1」(1 単位) 「心理学概論」(2 単位) 「子ども発達学専門演習 I」(4 単位) 「子ども発達学専門演習 II」(4 単位)	心理臨床専修 ■卒業必修科目 「心理学実験」(2 単位) 「心理学応用実験」(2 単位) 「心理学研究法」(2 単位) ・以下の 3 科目から 1 科目 2 単位を必修 「精神疾患とその治療」(2 単位) 「福祉心理学」(2 単位) 「発達心理臨床論」(2 単位)	障害児心理専修 ■卒業必修科目 ・以下の 3 科目から 1 科目 2 単位を必修 「教育心理学概論」(2 単位) 「学校心理臨床論」(2 単位) 「発達心理臨床論」(2 単位)

備考：外国人留学生入試による入学者は、原則として「日本語と文化 I-1」「同 I-2」「同 II-1」「同 II-2」「同 III-1」「同 III-2」「同 IV-1」「同 IV-2」を「フレッシュマンイングリッシュ I-1」「同 I-2」「同 II-1」「同 II-2」に替えて履修する。

入学年度	必修科目	必修単位数 (自学部自学科開講)
2012 年度以前入学生 適用	●総合基礎科目 「フレッシュマンイングリッシュ I」(2 単位) 「フレッシュマンイングリッシュ II」(2 単位) 「情報処理演習」(4 単位)	●総合基礎科目 28 単位以上 ●専門科目 66 単位以上

<成績状況についてのコメント>

学科のカリキュラムを勘案し、修得単位数に対するコメントを学科ごとに設定しています。あくまで修得単位数についてのコメントで、卒業必修科目、資格要件科目などの修得状況は考慮していませんので念頭に入れておきましょう。

2019 年度入学者

学年	段階	修得単位数	成績メッセージ
1 年 末	IV	40 単位以上	良好です。資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。
	III	30 ～ 39 単位	卒業条件と資格・免許の取得基準を再確認し、学習計画を立ててください。年間の修得単位数を少し増やしましょう。
	II	10 ～ 29 単位	このままでは、4 年間で卒業することが難しくなります。至急、履修相談を行ってください。
	I	0 ～ 9 単位	4 年間で卒業することが難しい状況です。至急、履修相談を行ってください。
2 年 末	IV	70 単位以上	良好です。資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。
	III	60 ～ 69 単位	卒業条件と資格・免許の取得基準を再確認し、学習計画を立ててください。年間の修得単位数を少し増やしましょう。
	II	30 ～ 59 単位	このままでは、4 年間で卒業することが難しくなります。至急、履修相談を行ってください。
	I	0 ～ 29 単位	4 年間で卒業することは極めて困難です。至急、履修相談を行ってください。
3 年 末	IV	110 単位以上	良好です。資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。
	III	84 ～ 109 単位	余裕をもって資格・免許の取得と卒業ができるよう、学習計画を立てましょう。
	II	76 ～ 83 単位	4 年間で卒業することが難しい状況です。至急、履修相談を行ってください。
	I	0 ～ 75 単位	4 年間で卒業することは極めて困難です。至急、履修相談を行ってください。
4 年 前 期 末	IV	120 単位以上	良好です。資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。
	III	94 ～ 119 単位	確実に卒業できるよう学習計画を立ててください。
	II	82 ～ 93 単位	後期の単位修得が多くなければ、今年度の卒業は難しいでしょう。至急、履修相談を行ってください。
	I	0 ～ 81 単位	今年度で卒業することは困難です。至急、履修相談を行ってください。

※卒業必修科目、資格要件科目などの修得状況は考慮していませんので注意して下さい

2018 年度以前入学者

学年	段階	子ども発達学科		心理臨床学科	
		修得単位数	成績メッセージ	修得単位数	成績メッセージ
1年	V	46 単位以上	とても良好ですが、資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。	38 単位以上	とても良好です。
	IV	40～45 単位	良好ですが、資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。	34～37 単位	良好です。
	III	30～39 単位	卒業条件と資格・免許の取得基準を再確認し、学習計画を立ててください。年間の修得単位数を少し増やしましょう。	30～33 単位	余裕をもって4年間で卒業できるよう、年間の修得単位数を少し増やしましょう。そのための学習計画を立ててください。
	II	10～29 単位	このままでは、4年間で卒業することが難しくなります。至急、履修相談を行ってください。	10～29 単位	このままでは、4年間で卒業することが難しくなります。至急、履修相談を行ってください。
	I	0～9 単位	4年間で卒業することが難しい状況です。至急、履修相談を行ってください。	0～9 単位	4年間で卒業することが難しい状況です。至急、履修相談を行ってください。
2年	V	92 単位以上	とても良好ですが、資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。	78 単位以上	とても良好です。
	IV	80～91 単位	良好ですが、資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。	70～77 単位	良好です。
	III	60～79 単位	卒業条件と資格・免許の取得基準を再確認し、学習計画を立ててください。年間の修得単位数を少し増やしましょう。	60～69 単位	余裕をもって4年間で卒業できるよう、年間の修得単位数を少し増やしましょう。そのための学習計画を立ててください。
	II	28～59 単位	このままでは、4年間で卒業することが難しくなります。至急、履修相談を行ってください。	28～59 単位	このままでは、4年間で卒業することが難しくなります。至急、履修相談を行ってください。
	I	0～27 単位	4年間で卒業することは極めて困難です。至急、履修相談を行ってください。	0～27 単位	4年間で卒業することは極めて困難です。至急、履修相談を行ってください。
3年	V	124 単位以上	とても良好ですが、資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。	120 単位以上	とても良好です。
	IV	110～123 単位	良好ですが、資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。	110～119 単位	良好です。
	III	84～109 単位	余裕をもって資格・免許の取得と卒業ができるよう、学習計画を立てましょう。	84～109 単位	余裕をもって卒業できるように学習計画を立てましょう。
	II	76～83 単位	4年間で卒業することが難しい状況です。至急、履修相談を行ってください。	76～83 単位	4年間で卒業することが難しい状況です。至急、履修相談を行ってください。
	I	0～75 単位	4年間で卒業することは極めて困難です。至急、履修相談を行ってください。	0～75 単位	4年間で卒業することは極めて困難です。至急、履修相談を行ってください。
4年前期	V	128 単位以上	とても良好ですが、資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。	124 単位以上	とても良好です。
	IV	120～127 単位	良好ですが、資格・免許の取得基準を満たしているかどうかは各自で確認してください。	120～123 単位	良好です。
	III	94～119 単位	確実に卒業できるよう学習計画を立ててください。	94～119 単位	確実に卒業できるよう履修計画を立ててください。
	II	82～93 単位	後期の単位修得が多くなければ、今年度の卒業は難しいでしょう。至急、履修相談を行ってください。	82～93 単位	後期の単位修得が多くなければ、今年度の卒業は難しいでしょう。至急、履修相談を行ってください。
	I	0～81 単位	今年度で卒業することは困難です。至急、履修相談を行ってください。	0～81 単位	今年度で卒業することは困難です。至急、履修相談を行ってください。

良好な成績であっても資格・免許に必要な単位を、配当学年に修得できなかった際は、翌年度に再履修しようとしても、資格・免許必修科目と時間割が重なり、学習計画を見直さなければならなくなることもあります。